

令和元年度 第三学期 始業式に臨んで

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、第三学期の学校生活が本日から始まります。さて、西暦2020年と区切りよい数字である今年は、8月に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から選手及び観戦者が日本に集まって来ます。

大きなスポーツ大会の開催という視点だけでなく、国際社会における日本の立ち位置や評価もいろいろと話題になると予想されます。皆さんも、この国が海外と関わる様々な世の中の動きを感じ、あるいは体験することになるでしょう。自国での夏のオリンピック・パラリンピック開催される経験は、おそらく一生に一度、二度くらいしかないでしょうから、しっかりと競技以外のことを含めて、自分の目や耳で確かめてください。

さて、新しい年の初めでありますので、皆さんに三つのことをお願いしておきます。三つとも、そんなに目新しいことではありませんが、よく聞いてください。

一つ目は学ぶことの喜びを知ってほしいということです。学ぶことは自分の可能性を広げることです。新しいことを知り、できなかったことができるようになる、これはささやかな、時には大きな喜びです。例えば一日に一つの知識を覚え、一つの問題が解けるようになる。このことが一年続けば365個の知識を得て、365問の問題が解けるようになっていきます。毎日少しずつ貯金をしているのと同じです。しかも貯金は使えばなくなってしまうますが、知識や問題解決は使ってもなくなりません。それどころか使えば使うほど定着していきます。時には失敗や耐えることも経験しながら、学ぶ

ことの喜びを味わい、その喜びを胸に次なる挑戦に向かってもらいたいと思います。

二つ目は自分を大切にしてほしいということです。一人一人はかけがいのない存在であり家庭、学校、社会において、それぞれが必要とされ、その役割があります。あなたの代わりは誰もいません。人は自分の価値に気がつかないことがよくあります。周りの人があなたの価値を認めていても、それを言葉で伝えてくれるとは限りません。青年期の心理の特徴として、自分に自信が持てない傾向があります。今は目立たない存在であるけど、将来において自分も周囲も考えなかった成果を成し遂げる人も多くいます。人は時間をかけて成長し変化していきます。そして何よりもあなたが今、ここにいるということが価値であり、大切なことです。かけがいのない自分の価値を認めて、自分を大切にしていってください。

三つ目は他の人も大切にしてほしいということです。人間は集団生活を営む動物です。人類発祥からの生物学的、社会学的な歴史をみても、集団社会を形成して生活していくことが人類の生き残りの手段、強味であることが分かります。基本的に単独で、一匹狼で生きていくことは難しいと言えましょう。相互に協力し合えることが私たち人間の強みです。一方で現代は価値観の多様化とグローバル化が進んでおり、多様な考え方と意見の違いが存在します。むしろ、人と自分とは意見の違いがあるとの前提に立って、それゆえに自分とは異なる他者を認め、尊重し、協力していく必要があります。更に言えば、他人を大切にすあなたの行動は、あなたが他人からも大切にされるという良い循環を生むでしょう。

10代の後半、高校生として過ごす時間は短いものです。学ぶ喜びを知り味わい、自分を大切にし、人を大切にし、今自分は何

をすべきか、どうするべきかを考え、本校の生徒として、それだけでなく日本人として、地球人として世の中をしっかりと見て、日々を過ごして行ってほしいと思います。

さて、この第三学期、三年生は卒業に向けて、一・二年生は次の学年への進級に向けての大切な学期となります。一年間のゴールに向けて、最後まで油断することなく走り抜けてください。寒さの厳しい日々が続いています。寒さに負けず、健康に十分気をつけて、一日一日を大切に充実した実り多き第三学期を送り、一年間の学校生活を締めくくってください。以上で私の話を終わります。

令和二年一月七日